



VMware vRealize Cloud Universal と VMware vCloud Suite Subscription ライセンス、価格、パッケージ

目次

エグゼクティブ サマリ	3
VMware vRealize Cloud Universal のライセンスの概要	4
CloudHealth Enterprise Plus バンドル	4
vSphere については仮想マシン数に制限なし	5
オンプレミスの vSphere 環境と パブリッククラウド間でのシームレスな可搬性	5
1つのライセンスで複数のコンポーネントに対応	5
VMware vRealize Cloud Universal のエディション	6
使用量の測定	7
VMware vCloud Suite Subscription	8
vRealize Cloud Universal のアップグレードとアドオン	9
FAQ	10
購入方法	10

エグゼクティブ サマリ

VMware vRealize® Cloud Universal™ はマルチクラウド向けの SaaS 管理スイートです。自動化、運用、ログ分析、ネットワーク可視化、コスト最適化、セキュリティ、コンプライアンスを実現するオンプレミスと SaaS の機能を組み合わせて 1 つのライセンスで提供することで、クラウドの導入を促進するように設計されています。

vRealize Cloud Universal を導入すると、ライセンスを再購入しなくても、オンプレミスに展開するか、SaaS として展開するかを柔軟に選択できるため、ハイブリッドクラウドとマルチクラウドを一貫性のある方法で管理できます。さらに、柔軟なライセンス モデルとデリバリー モデルを利用し、お客様のペースに合わせて移行できるため、組織の俊敏性、拡張性、効率性の向上に役立ちます。

vRealize Cloud Universal は、次の製品とその機能で構成されています。

- **CloudHealth®**: マルチクラウドのコスト管理と最適化を支援するこのソリューションにより、クラウドのコスト、使用量、パフォーマンスを可視化し、環境を最適化して費用対効果を高め、コストを制御できます。CloudHealth は世界中の何千ものサイトに導入されており、管理しているクラウドに対する投資額は 130 億ドルを超えています。CloudHealth は、マルチクラウドのコスト管理と最適化をリードする実績あるソリューションです。CloudHealth の導入により、あらゆる規模の企業がコスト総額を容易に把握し、独自のビジネス ニーズを考慮し、それぞれのチームの責任を明確にすることができます。
- **CloudHealth Secure State™**: セキュリティとコンプライアンスを強化するインテリジェントなクラウドネイティブ プラットフォームです。構成エラーを削減し、数百万のクラウド リソースを大規模に保護します。リソースの関連性に基づくクラウド データ モデルを採用しているこのサービスは、リアルタイムのインベントリ検索、高度なリスクの関連付け、1,000 を超えるベスト プラクティス ルールによってリスクの可視性を高め、クラウド イベントの通知から 6 秒以内に違反の 95% を検知します。CloudHealth Secure State を使用することで、セキュリティチームと運用チームはクラウド セキュリティを容易に運用し、開発者と連携して修正作業を自動化できます。
- **VMware vRealize Automation™ | vRealize Automation Cloud™**: VMware Cloud™ インフラストラクチャ上のマルチクラウド環境とプライベートクラウド環境をサポートする最新のインフラストラクチャ自動化プラットフォームです。セルフサービスの自動化、インフラストラクチャ向けの DevOps、ネットワーク自動化機能を使用して、ビジネスおよび IT の俊敏性、生産性、効率を高めることができます。vRealize Automation を使用すると、従来型、クラウドネイティブ、およびマルチクラウドのインフラストラクチャを統合、効率化、モダナイズできます。IT を簡素化しつつ、将来のビジネスに備えることができます。
- **VMware vRealize Operations™ | vRealize Operations Cloud™**: AI を活用した統合プラットフォームにより、プライベートクラウド、ハイブリッドクラウド、マルチクラウドのすべての環境にわたって IT 運用管理を自動化できます。vRealize Operations は、物理、仮想、クラウド インフラストラクチャ(仮想マシンとコンテナを含む)からサポート対象のアプリケーションまでを網羅するフルスタックの可視性を提供して、パフォーマンスの継続的な最適化、キャパシティおよびコストの効率的なプランニングと管理、アプリケーションベースのインテリジェントな修正、コンプライアンスの統合管理を実現します。
- **VMware vRealize Log Insight™ | vRealize Log Insight Cloud™**: 直感的でアクション可能なダッシュボード、高度な分析機能、サードパーティ向けの幅広い拡張性を備えた、非常にスケーラブルなログ管理ソリューションです。物理、プライベートクラウド、ハイブリッドクラウド、マルチクラウドのすべての環境にわたって運用を詳細に可視化できるため、迅速なトラブルシューティングが可能です。

- VMware vRealize Network Insight Cloud™: プライベートクラウド、パブリッククラウド、ハイブリッドクラウドにわたってアプリケーションのセキュリティとネットワークを強化し、最適化できます。VMware Cloud Universal™ でのみ提供されます。

- VMware Skyline™: プロアクティブなインテリジェンスを利用してトラブルを未然に防ぎ、サポート リクエストの解決に要する時間を短縮できます。

また、vRealize Cloud Universal には SaaS 専用の機能が含まれています。

- VMware vRealize AI Cloud™: 強化学習により、多様なアプリケーション ワークロードを対象にストレージの KPI を学習、適応、最適化できます。

- VMware vRealize Cloud Federated Catalog™: IT インフラストラクチャ リソースの統合カタログをエンドユーザーにグローバルに提供します。

- VMware vRealize Cloud Federated Analytics™: ハイブリッドクラウド環境とマルチクラウド環境を 1 つのインターフェイスで一元的に確認できます。

- VMware vRealize Cloud Subscription Manager™: オンプレミスおよびクラウドに展開された vRealize のライセンス使用量の測定を自動化します。

vRealize Cloud Universal は、VMware vSphere® Enterprise Plus Edition™ と組み合わせて VMware vCloud Suite® Subscription として購入することもできます。

VMware vRealize Cloud Universal のライセンスの概要

VMware vRealize Cloud Universal では CPU 単位でライセンスが付与されます。これによってお客様は、実行場所がオンプレミスの vSphere 上か、サードパーティ製ハイパーバイザーか、物理サーバか、サポート対象のパブリッククラウドかにかかわらず、ワークロードを柔軟に管理できます(図 1)。ライセンスの切り替えや変換は必要ありません。

1 CPU ライセンスの場合、vRealize Cloud Universal を使用して、1 個のオンプレミス vSphere CPU、1 個の VMware Cloud on AWS CPU、または vSphere ベースの環境のその他の CPU に展開されたオペレーティング システム インスタンス(OSI)/仮想マシンを無制限に管理できます。あるいは、その他のサポート対象のパブリッククラウド、サードパーティ製ハイパーバイザー、物理サーバに展開された最大 18 の OSI を vRealize Cloud Universal で管理できます。さらに、管理パックを使用して、ほかの物理デバイス、ミドルウェア、データベース、アプリケーションを統合することもできます(管理パックは別売りです。管理パックにはそれぞれ個別のライセンスルールが適用されます。アダプター インスタンスごとに 1 つの OSI が必要です)。CPU および OSI の詳細については、[vRealize Cloud Universal サービス説明書](#)をご覧ください。

CloudHealth Enterprise Plus バンドル

vRealize Cloud Universal Enterprise に CloudHealth Enterprise Plus バンドルが追加されました。このバンドルには、CloudHealth マルチクラウド プラットフォームと CloudHealth Secure State が含まれています。これら 2 つのダイナミックな製品は、vRealize Cloud Universal にマルチクラウド機能を提供し、クラウド コストを最適化するとともにセキュリティとコンプライアンスを強化します。CloudHealth Enterprise Plus は、vRealize Cloud Universal Enterprise を新規購入されたお客様が利用できます。このバンドルでは、お客様が購入された vRealize Cloud Universal のライセンスごとに、パブリッククラウドの月額費用 500 ドル分相当を管理できます。

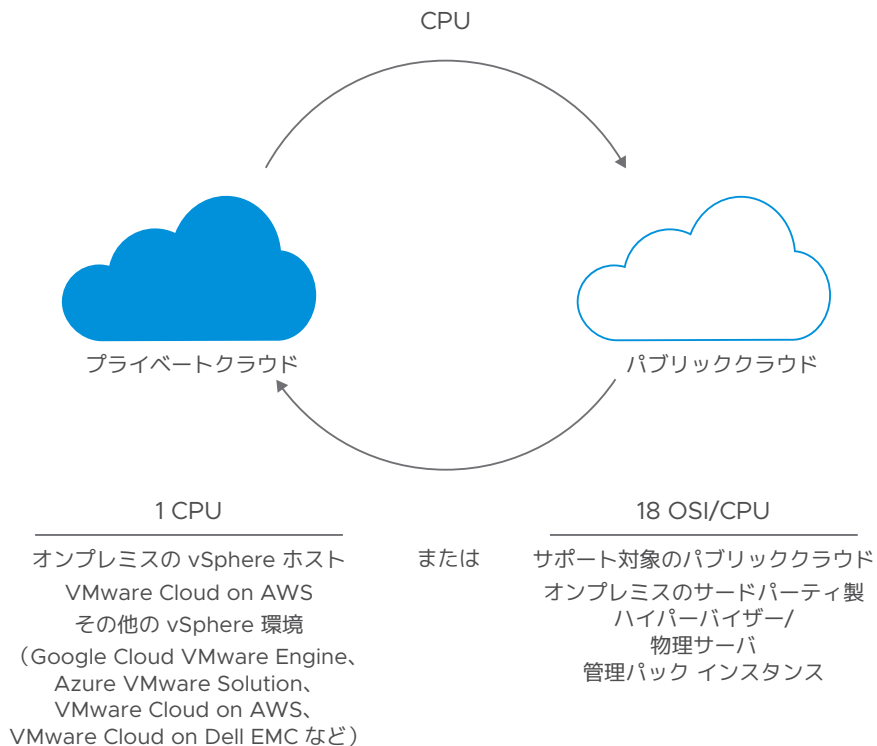


図 1: CPU の可搬性

vSphere については仮想マシン数に制限なし

最大 32 コア/CPU であれば、vRealize Cloud Universal で管理できる vSphere CPU あたりの仮想マシン数に制限はありません。この CPU/ プロセッサには、vRealize Cloud Universal または vCloud Suite Subscription のライセンスが付与されている必要があります。管理対象の仮想マシンでは、ライセンスが付与された vRealize Cloud Universal エディションに含まれるすべてのコンポーネントを使用できます。

オンプレミスの vSphere 環境とパブリッククラウド間でのシームレスな可搬性

CPU 単位のライセンス体系により、現在展開している vRealize Cloud Universal を使用してオンプレミスの vSphere ワークロードを管理するか、サポート対象のパブリッククラウド、サードパーティ製ハイパーバイザー、または物理サーバ上のワークロードを管理するかを切り替えることができます。このため、仮想マシンをオンプレミスからパブリッククラウドに移行しても、ライセンスを切り替えずに、同じ vRealize Cloud Universal インスタンスを使用してワークロードを管理できます。また、この製品の SaaS バージョンを使用すると、ライセンスに影響を与えることなくワークロードを管理できます。

1つのライセンスで複数のコンポーネントに対応

vRealize Cloud Universal は、複数のコンポーネントを組み合わせて単一のソリューションを構成し、単一のライセンスで提供されます。vRealize Cloud Universal に含まれているコンポーネントには、CloudHealth、CloudHealth Secure State、vRealize Cloud Subscription Manager、vRealize Operations、vRealize Automation、vRealize Log Insight、vRealize Operations Cloud、vRealize Automation Cloud、vRealize Log Insight Cloud、vRealize Network Insight

Cloud、vRealize Cloud Federated Analytics、vRealize Cloud Federated Catalog、vRealize AI Cloud、VMware Skyline、vRealize Suite Lifecycle Manager™ があります。これらのコンポーネントの多くは、OSI 単位またはプロセッサ単位でライセンス付与される単体製品としても提供されていますが、vRealize Cloud Universal として購入すると、単一 CPU ライセンスが付与されます。十分なキャパシティを購入済みであれば、vRealize Cloud Universal に含まれるすべてのコンポーネントを使用して、vSphere のライセンスが付与されたプロセッサ、サードパーティ製のサポート対象ハイパーバイザー、サポート対象のパブリッククラウド、またはこれらを組み合わせた環境で実行される仮想マシンを管理できます。

vRealize Cloud Universal は複数のコンポーネントで構成されていますが、単一のライセンスで提供される単体ソリューションです。vRealize Cloud Universal エディションを構成するすべてのコンポーネントは、単一のエンティティとしてライセンス付与されます。vRealize Cloud Universal の単一のライセンスを複数のプロセッサで使用することはできません。たとえば、1つのライセンスを、あるプロセッサ上で実行するコンポーネント(例:vRealize Operations)に使用し、さらに別のプロセッサ上で実行する別のコンポーネント(例:vRealize Log Insight)に使用することはできません(図 2)。

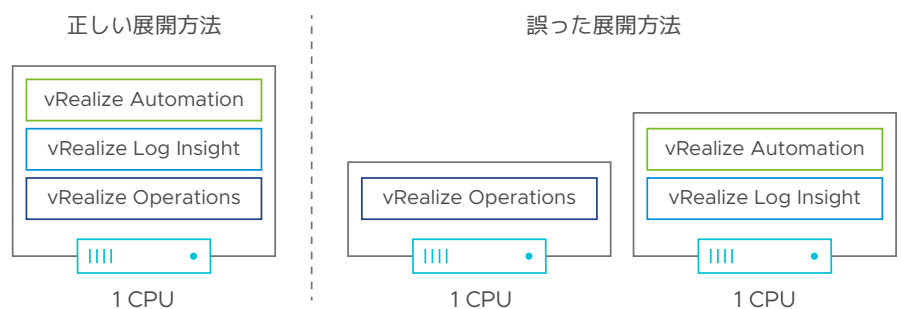
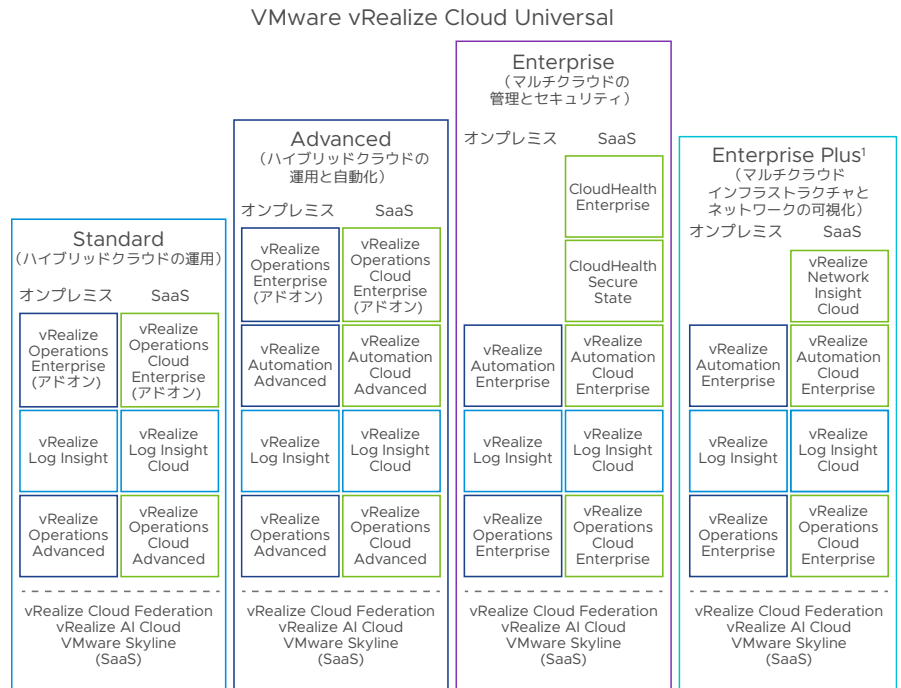


図 2: vRealize Cloud Universal の正しい展開方法と誤った展開方法

VMware vRealize Cloud Universal のエディション

VMware では、さまざまな管理ニーズやユースケースに対応できるように複数の vRealize Cloud Universal のエディションを提供しています。

- Standard: 自動運用のユースケースをサポートします。インテントベースのパフォーマンスの継続的な最適化、効率的なキャパシティ管理、プロアクティブなプランニング、インテリジェントな修正の実現を目指す企業を対象としています。
- Advanced: プログラム可能なプロビジョニングのユースケースをサポートします。サービスの提供と継続的な管理を自動化し、IT インフラストラクチャ サービスの迅速な提供を目指す企業を対象としています。
- Enterprise: ハイブリッド/マルチクラウド インフラストラクチャのユースケースをサポートします。コストの最適化、セキュリティとコンプライアンスの強化、アプリケーションの自動化と運用の向上を目指す組織を対象としています。
- Enterprise Plus: アプリケーションの検出とネットワークの最適化をサポートします。ハイブリッドクラウド環境とマルチクラウド環境にわたる一元的な可視化の実現を目指す組織を対象としています。VMware Cloud Universal の一部として、または VMware Cloud on AWS のアドオンとしてのみご利用いただけます。



1 vSphere CPU または 18 OSI/CPU(vSphere 以外)

注: アプリケーション監視およびパブリッククラウドのサポートは vRealize Operations Enterprise に含まれています。エディションの比較の詳細については、[vRealize Operations データシート](#)をご覧ください。

図 3: vRealize Cloud Universal のエディション

使用量の測定

vRealize Cloud Subscription Manager は、vRealize Suite Lifecycle Manager と連携してオンプレミスの製品のデータを収集するクラウド ユーティリティ サービスです。また、クラウドサービスとも連携して、利用しているクラウドサービスのライセンス使用量データを監視します。

- vRealize Cloud Universal のサブスクリプションを管理し、vRealize Cloud のすべてのコンポーネントの使用状況を可視化
- オンプレミスおよびクラウドに展開された vRealize のライセンス使用量の測定を自動化(vRealize Suite Lifecycle Manager を展開する必要があります)
- VMware Cloud Services との課金の統合(VMware Cloud Services プラットフォームで有効な支払い方法を設定する必要があります)

1. vRealize Cloud Universal Enterprise Plus は VMware Cloud Universal の一部として、または VMware Cloud on AWS のアドオンとしてのみご利用いただけます。

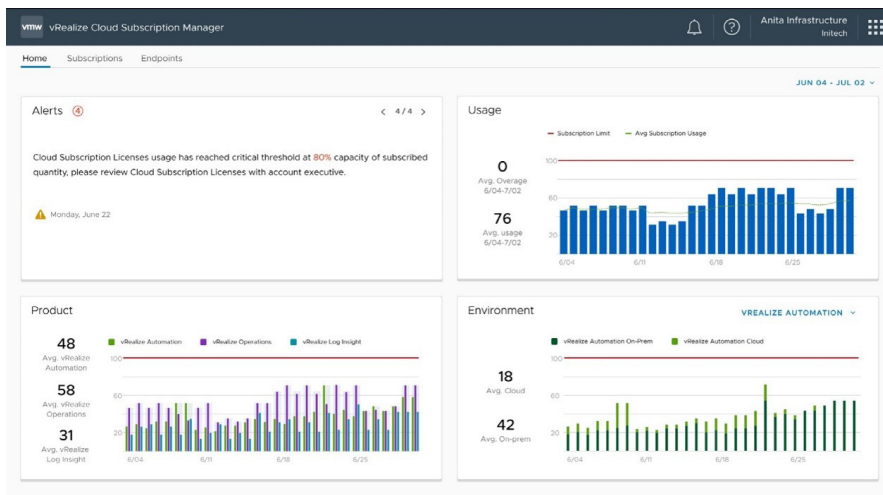


図 4: vRealize Cloud Subscription Manager のダッシュボード

VMware vCloud Suite Subscription

VMware vCloud Suite Subscription には、vSphere Enterprise Plus ハイパーバイザーと vRealize Cloud Universal が含まれています(図 5)。VMware は、含まれている vRealize Cloud Universal のエディションに基づいて 3 種類の vCloud Suite Subscription のエディションを提供しています。vSphere Enterprise Plus はすべてのエディションで同じです。

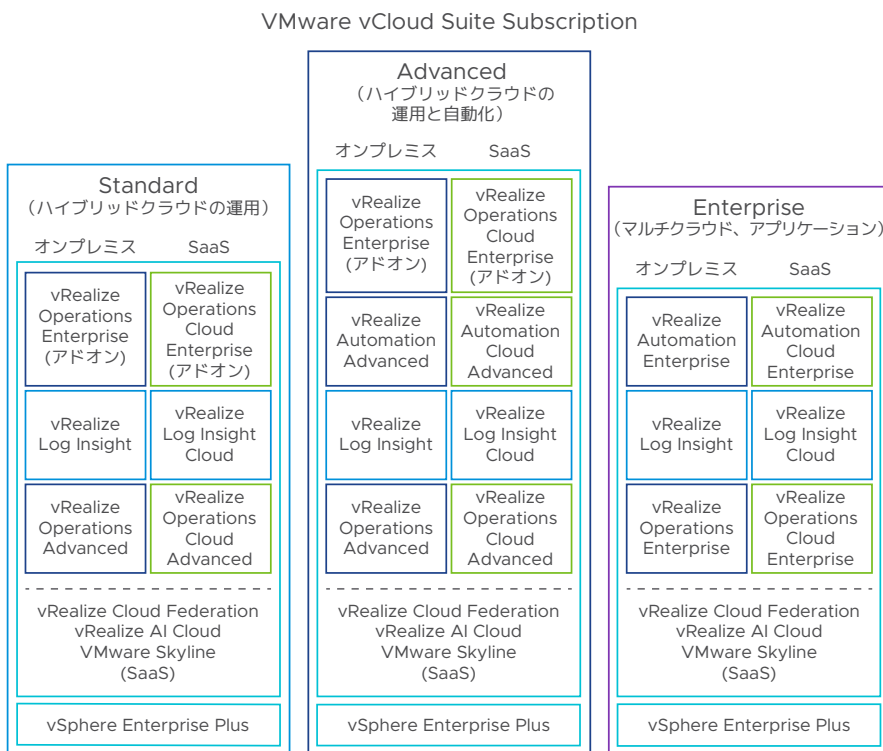


図 5: vCloud Suite Subscription のエディション

vRealize Cloud Universal のアップグレードとアドオン

vRealize Cloud Universal のアップグレードは、vRealize Operations、vRealize Automation、vRealize Log Insight などの単体製品 (図 6)、または vRealize Suite などのスイートから購入できます。いずれかの製品からアップグレードすると、無期限ライセンスのソフトウェアおよび関連サポートを使用する権利が失われます。このオプションにより、お客様の投資を保護することができます。

サポート対象のライセンスを vRealize Cloud Universal の上位エディションにアップグレードすると、元のライセンス キーが無効になり、アップグレード後のエディション用に新しいライセンス キーが発行されます。サポートおよびサブスクリプション(SnS)の料金は価格に含まれています。

vRealize Cloud Universal では次の 2 つの機能拡張アドオンも利用できます。

- vRealize Operations Enterprise Universal™ for vRealize Cloud Universal:
 - vRealize Cloud Universal に含まれる vRealize Operations Advanced コンポーネントを vRealize Operations Enterprise にアップグレードし、アプリケーションの監視やマルチクラウドなどの機能を提供
 - オンプレミスと SaaS の柔軟な切り替えを実現
- vRealize Cloud Universal Standard Add-on for Horizon®:
 - vRealize Operations を使用して既存の Horizon 環境を監視およびキャパシティ管理するための堅牢な機能を提供
 - vRealize Operations for Horizon の後継として、CPU 単位ベースで vRealize Cloud Universal Standard エディションを提供
 - Horizon VDI/RDS 環境を監視する場合、1 CPU で 40 CCU に対応する権限をお客様に付与

アップグレード元	アップグレード先		
	vRealize Cloud Universal Standard	vRealize Cloud Universal Advanced	vRealize Cloud Universal Enterprise
vRealize Operations Enterprise			○
vRealize Operations Advanced	○	○	○
vRealize Operations Standard	○	○	○
vRealize Automation Enterprise			○
vRealize Automation Advanced		○	○
vRealize Log Insight	○	○	○

図 6: 利用可能なアップグレード パス

FAQ

Q:お客様は既存の vRealize Suite ライセンスを vRealize Cloud Universal にアップグレードできますか？

A:はい。単体製品の vRealize および vRealize Suite をご利用のお客様は、[サブスクリプション アップグレード プログラム\(SUP\)](#)によって vRealize Cloud Universal または vCloud Suite Subscription にアップグレードできます。ただし、できるのは、その製品内のバージョンのアップグレードです。

Q:vRealize Cloud Universal と vCloud Suite Subscription の違いを教えてください。

A:vCloud Suite Subscription は、vRealize Cloud Universal および vSphere Enterprise Plus の期間限定ライセンスで構成されるバンドルであり、価格にはディスカウントが適用されます。vCloud Suite Subscription は、クラウド管理プラットフォーム ソリューションの購入と、vSphere キャパシティの拡大を検討されているお客様を対象としています。

Q:vRealize Cloud Universal で vRealize Network Insight Cloud を利用できますか？

A:vRealize Network Insight Cloud は、vRealize Cloud Universal Enterprise Plus エディションでご利用いただけます。このエディションは VMware Cloud Universal でのみ利用できます。また、VMware Cloud on AWS のアドオンとして利用することもできます。

Q:vRealize Cloud Universal を購入する際の前提条件はありますか？

A:vRealize Cloud Universal の前提条件となる VMware 製品はありませんが、IT 環境の構成について特定の要件があります。これらの要件については、この製品のユーザー ガイドをご確認ください。

Q:vRealize Cloud Universal と VMware Cloud Universal の違いを教えてください。

A:VMware Cloud Universal は購入プログラムであり、お客様は、VMware Cloud Foundation™ と VMware Cloud の間でインフラストラクチャを柔軟に切り替えることができます。また、VMware Cloud Foundation の一部である vRealize を vRealize Cloud Universal に転換できます。vRealize Cloud Universal は VMware Cloud Universal に含まれています。


vRealize Cloud Universal はハイブリッド サブスクリプション ライセンスです。このライセンスにより、お客様は vRealize の管理機能をオンプレミスに展開することも、SaaS として利用することもできます。これらは柔軟に切り替えることができ、ライセンスを再購入する必要はありません。

購入方法

vRealize Cloud Universal の購入方法については、[vmware.com/jp/products/vrealize-cloud-universal](https://www.vmware.com/jp/products/vrealize-cloud-universal) をご覧ください。

VMware Cloud Universal の詳細については、[vmware.com/jp/products/cloud-universal](https://www.vmware.com/jp/products/cloud-universal) をご覧ください。

地域の認定リセラーを検索する際は、オンラインの VMware Partner Locator (partnerlocator.vmware.com)をご利用ください。



本資料は原題「VMware vRealize Cloud Universal and VMware vCloud Suite Subscription」の翻訳版です。

